



自然と人間社会が共生する只見町

No.164

令和3年7月30日発行

2021 JULY

# 議会だより



6月会議（新規人材確保に支援）…………… 2～3

全員協議会

（町長、道の駅基本計画の変更を表明）… 4～5

追跡（貴重な町民の声！その後どうなった!!）

…………… 6～7

11名が町政を問う！一般質問…………… 11～22

教えて議会のこと …………… 23

**明和小学校運動会  
コロナ禍の中 安全に開催**

**P9に関連記事**

只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページからも視聴できます。  
議会中継へ➡



# に支援!!

## 6月会議

1

雇用促進  
奨励助成金

1000万円

町内事業者が新規雇用を採用の際社会保険事業者負担分の1/2を町が負担!

2

子育て世帯生活  
支援特別給付金

205万円



新型コロナによる影響の長期化に対し、低所得の子育て世帯(41世帯)へ給付!

3

米の食味  
分析計の購入

419万円

美味しい只見産米のおいしさを数字で表しアピール!



ブランド米を期待

4

施設園芸産地力強化  
支援事業補助金

1141万円

出荷拡大を図るための成分分析やパイプハウスなどの設置に対し、南郷トマト生産組合へ補助!



町の基幹産業の南郷トマトハウス

6月会議は、6月15日から18日の4日間開催され、雇用促進条例を含め条例改正6件、一般会計補正予算など議案すべて可決されました。毎年6月会議において改定される国保税については今年度は据え置きに決定されました。

(千円未満切り捨て)

# 新規人材確保

5

会津夏まつり  
実行委員会負担金

20万円

会津17市町村の長がトップセールスとして町を全国にアピール！



頑張る町長

6

プレミアム商品券  
発行事業補助金

950万円

地域経済支援のためにプレミアム商品券追加発行！



大好評!!

7

奥会津ただみの森キャンプ場  
コテージ用Wi-Fi環境整備工事



369万円

コテージ7棟のWi-Fi環境を整備し、利便性と魅力向上を図る！

8

克雪対策事業補助金

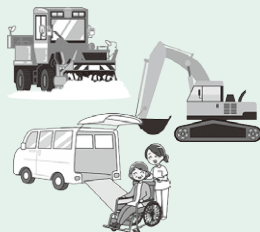
500万円  
(総額1500万円)

今年から克雪対策事業補助金に加えられた屋根塗装の申請に応える！

## 財産の取得

\*新年度予算の財産購入が契約されました。

- 除雪ドーザ 2台  
4389万円
- 後方小旋回油圧ショベル  
863万円
- デイサービス送迎用バス  
1132万円



(※23ページに関連記事)

9

町下管理棟 給水修繕

55万円



管理棟のさび水改善のため給水設備を修繕

(千円未満切り捨て)

(議会)

# 変更案慎重に審議を進める!!

## ここまでの流れ

3月26日

「道の駅」基本計画検討委員会最終会議

4月20日

経済文教常任委員会において「道の駅」基本計画(案)の説明

5月7日

全員協議会において「道の駅」建設の場所の変更と只見駅前賑わい創出事業の意向を表明

6月15日

全員協議会において只見駅前賑わい創出事業の計画案の説明

5月7日の全員協議会において、町長は「道の駅」建設の場所を只見〜南会津町間の国道289号沿いの場所に建設したいと表明しました。更に只見駅前には只見駅前賑わい創出事業として、町の総合案内、物販、飲食のできる場所を整備したいとの意向を示しました。理由として、JR只見線の再開通に間に合うように早急に駅前整備を急ぎたいこと、道の駅はふくしま道づくりプランに掲げる縦横6本の連携軸を意識して計画したい、ということでした。

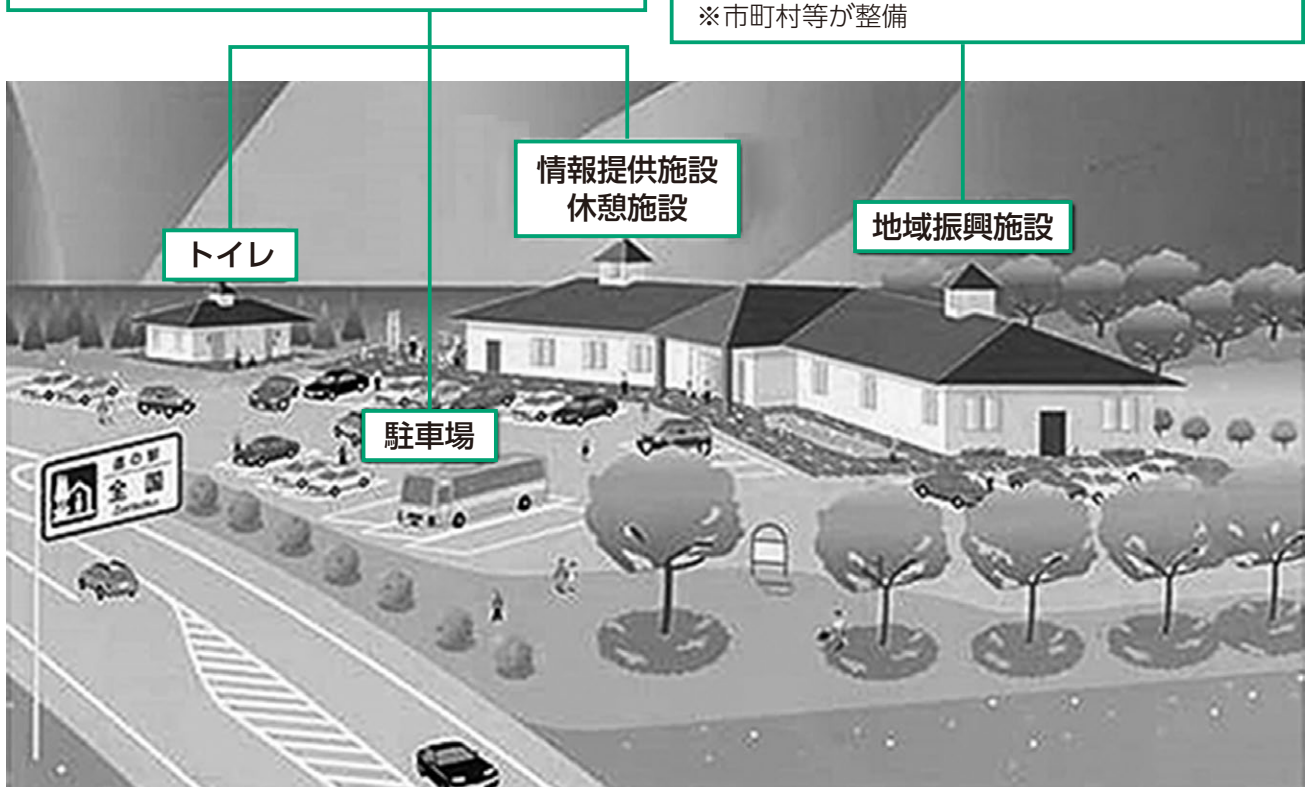
6月15日の全員協議会では様々な質疑がなされ、6月会議の一般質問でも6名の議員が関連質問を行いました。

### 駐車場、トイレ、情報提供施設、休憩施設

※道路管理者又は市町村等で整備

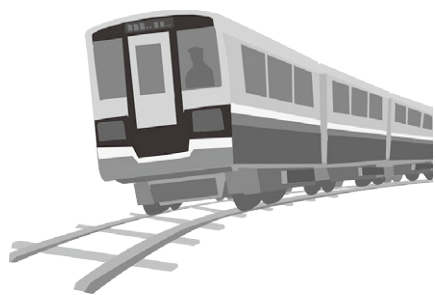
### 地域振興施設

(文化教養施設、観光レクリエーション施設など)  
※市町村等が整備



道の駅整備イメージ図：国土交通省HPより引用

# (町長) 「道の駅」基本計画変更を表明



## 変更表明を受け 主な質疑

**問** 只見駅前賑わい創出事業は振興計画に掲げていない事業だ。  
まずは計画にあげることだ。

**答** 早急に整備して示したい。

**問** 来年の7月開業を目指すには急ぎすぎではないか。十分な検討時間が必要だ。

**答** JR只見線の再開通に間に合わせたい。

**問** 町の総合案内も機能として示しているが、その部分の費用負担も事業者負担となるのか。

**答** 事業者をお願いしたい。

**問** すでに近くで観光まちづくり協会が同様の業務を実施している。整合性はとれるのか。

**答** 今後協議したい。



観光まちづくり協会

## まとめ

議会には「道の駅」基本計画(案)や、検討委員会の最終答申、及び町長の具体的な考えが示されておらず、十分な質疑がなされていないため、「道の駅」基本計画、及び只見駅前賑わい創出事業については、今後も注視して審議を進めていく。



全員協議会で示された只見駅前賑わい創出事業のイメージ

# その後どうなった!!

貴重な意見についてお知らせいたします。

## 人材不足について



### 町民の声

町内どの分野も人手不足、人材確保が急務である。行政と民間の人材確保には連携が大切だ。

特定地域づくり事業協同組合設立に向けて始動。

### 町の対応

### 議会の意見

只見町では業種によって繁忙期と閑散期の差が激しいため、安定した通年雇用が難しい。様々な事業者が組合に加入することで、雇用者は社会保険に加入でき通年雇用が可能となる。総務省の新しい制度を活用し、Uターン者の受皿をつくるべき。

## 若者定住、空き家対策について



### 町民の声

町にだんだん元気が無くなってきていると感じる。町としての定住に対する施策を教えてほしい。

Uターン奨励制度、奨学金などの充実。

### 町の対応

### 議会の意見

結婚新生活支援事業補助金、住宅取得支援事業補助金などの新規補助金の制度の充実。学校給食完全無償化事業など若者世代に向けた政策が充実したが、更なる施策が求められる。

貴重なご意見をお待ちしております。

# 追跡

# 貴重な町民の声!

今回は議会報告会や一般会議で出された

## 道の駅について慎重な審議を



### 町民の声

道の駅の場所は、民家がないところが一般的である。国道289号（八十里越）開通を直前になぜ駅前が予定地の有力候補地なのか。

全員協議会で大きく指針が示された。只見駅の複合施設化（総合案内、飲食、物販）を目指しながら、来年の只見線鉄路再開通が目の今、駅前の賑わいづくりが急務である。

### 町の対応

### 議会の意見

道の駅の場所については、只見から南会津町までの間で検討する考えが示されたことから慎重に審議を進めていく。

## 診療所体制について



### 町民の声

朝日診療所に専門医療はできないものか。診療所の入院患者制限はいつ改善されるのか。

朝日診療所基本計画を策定。4月から入院患者制限は解除された。

### 町の対応

### 議会の意見

常勤医師4名体制と看護師確保に最善を尽くすべき。

**\* 今後も一般会議・議会報告会等で**

## 総務厚生常任委員会

### ● 新型コロナウイルス感染症対策

### ● 自主財源対策を調査

誘致企業の撤退に伴う諸課題、及び新型コロナウイルスワクチン接種を含む新型コロナウイルス感染症対策、少子高齢化や自主財源対策等調査した。特に急激な人口減少や町税及び交付税の減少

適正な管理と職員研修、及び抜本的な行政改革の必要性がこれまで以上に望まれる。

基金等を有効に活用する他、新たな財源を求め、あらゆる可能性を探るべきである。

## 経済文教常任委員会

### ● 請願・陳情の審査

### ● 道の駅基本計画の進捗状況を調査

委員会では昨年度実施した議会報告会や、一般会議に寄せられた町民の皆様から頂いた様々な意見に対する所管各課の対応や、鳥獣被害対策の実施状況、更には道の駅基本計画

の進捗状況等の調査を実施した。

鳥獣被害対策における昨年度鳥獣駆除はイノシシ83頭、ニホンジカ86頭、ニホンザル63頭であった。今後は駆除頭数だけでなく、農

作物被害の調査を進め、効果の検証を実施する。「道の駅」基本計画については、只見駅前賑わい創出事業の事業計画案が示されたため、併せて慎重に調査を進めていく。



付託を受けた陳情の現地調査



新型コロナウイルスワクチン接種会場

## 議会運営委員会

3月会議以降6月会議までの間、議会運営委員会では下記の件について審議された。(抜粋)

- 3月26日 下郷町議会改革特別委員会の受入を行ない、議会運営などについて意見交換を実施
- 5月6日 只見町議会5月会議の開催について協議  
議事日程等について協議 (当局提出議案予算等計3件)  
請願・陳情付託について協議
- 6月10日 只見町議会6月会議の開催について協議  
議事日程について協議 (当局提出議案予算等計16件)  
会議日程を6月15日から18日までの4日間に決定  
諸般の報告、請願・陳情付託、各委員会所管事務調査報告、  
一般質問の通告内容、全員協議会の開催について協議



## 広報広聴常任委員会

- ①議会だより164号発行作業（7月30日発行）
- ②議会広報を通じて町民の方に行政内容が分かりやすく、読んでみたくなるような広報誌の発行を目指し取り組んでいく。
- ③町民の声を町政に反映させるための広聴活動にも力を入れ取り組んでいく。

### 一般会議募集のお知らせ

広報広聴常任委員会では町民の皆様からの様々な意見を聴き議会活動、町政に反映し、より良いまちづくりを考える場として一般会議開催の募集をしております。

**テーマ** テーマはまちづくりについてどのような事でも構いません、申し込みの際にお知らせください。

**開催方法** 日時・場所については皆さんの都合に合わせてご相談させていただきます。

**申し込み方法** 議会事務局へご連絡ください。  
(TEL 82-5300)

町民の皆さんと議会が一緒になりまちづくりについて話し合ってみませんか！

6月12日、コロナの影響により延期となっていた明和小学校運動会が行なわれました。今年のテーマは6年生が考えた「みんなできりきる運動会」です。

上の写真は、小学生になって初めての運動会、スタートに並ぶ1年生です。下の写真は、5、6年生による棒引き合戦、力の入ったコマです。

### 明和小学校運動会 コロナ禍の中 安全に開催



表紙の説明

# みなさん 議会傍聴 において下さい!

今回、一般の方の他に、只見小学校6年生の皆さんが議会傍聴に来てくださいました。



今回は小学生の率直な意見や感想をご紹介します。

- \*議長が「〇〇君」というのが不思議でした。
- \*初めて議会を見ているいろんな決まりがあるのが分かりました。
- \*話が難しかったですが、内容がわかるどころもたくさんありました。
- \*コロナが流行していますが、コロナのことだけでなく町をより良くするためにたくさんの提案を出されていました。
- \*只見町について熱心ですごいと思いました。
- \*只見町の今後について、詳しく話されている様子がみられ良い話し合いだと思います。
- \*僕は鉄道が好きなので、只見線が直ったら学校からも見え学校生活も楽しくなるかもしれません。
- \*一人一時間で質疑応答をしているのがすごいと思います。私たちも目標にして頑張ります。
- \*只見線の復興については、町民の意見を聞いて話し合いを進める事が大切だと思う。

是非皆さんも議会傍聴に来てみませんか。



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

\*注 今回は1～2名が一緒に録画動画になっています。

ブナりん

## 一般質問

- 酒井正吉郎 .....12  
JR只見線の復興推進は
- 矢沢 明伸 .....13  
只見線、八十里越その振興策は
- 佐藤 孝義 .....14  
新型コロナ終息後の雇用支援策は
- 小沼 信孝 .....15  
今後の人材確保は大丈夫か
- 三瓶 良一 .....16  
JR只見線全通に向けた取組みは
- 鈴木 好行 .....17  
道の駅基本計画の変更理由は
- 酒井 右一 .....18  
人口減少を止める策の検討経過は
- 山岸 国夫 .....19  
難聴者への補聴器助成制度創設を
- 菅家 忠 .....20  
多様な選択ができる住宅整備を
- 中野 大徳 .....21  
八十里開通に向けた道の駅建設は
- 齋藤 邦夫 .....22  
行政課題に取り組む組織力の強化を

# 町政を問う

町を想い11名が

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

# JR只見線の復興推進は

答 関係機関と十分協議し進める



さか い しょうきち ろう  
**酒井正吉郎** 議員

**問** 一時は誰もが不可能と思っていた鉄路による只見線全線開通が国、県、自治体と住民の方々、そして全国の鉄道ファンの総力結集により、実現される見通しとなった。町民の中には代行バスでも良かったという意見も少なからずあったが、来年度中には会津川口駅から只見駅間が10年ぶりに線路でつながる。コロナ禍の中、JR東日本、国、県、沿線町村等と今後の運営、存続等についてど

のような協議をし、復興を推進していくのか、また上下分離方式での運営により、今後の維持管理費が沿線町村に重くのしかかって来ると考えられる。他町村と協力して取り組む事業は何か、町長の考えを問う。

**答**

運営費は年間総額を2億1千万円と想定し、只見町は1935万5千円の負担となっている。この負担額については、沿線市町村を含め県としても大きな負担になることが想定される。会津総合開発協議会や県と連携し、国へ負担軽減を求めている状況である。

**問**

来年度只見線再開の式典が只見駅前で開催され、只見線の復興と存続による奥会津地域の活性化につながることを期待する。

町は町民総意としてどのような目標を掲げ町の活性化に繋げていくのか、町長の考えを問う。

**答**

JR只見線が鉄路で復旧して良かったと町民の皆様が思っていただけのことの一つの大きな目標と考えており、利用促進による只見町、そして奥会津地域への来訪者の拡大を目指している。只見駅周辺の魅力向上として、三石神社の歩道整備や旅行者に対する滞在商品のパッケージ化、ふるさと納税を切り口として縁結び事業を計画している。これらの事業展開を図る事により交流人口や関係人口を増加させ町の活性化に繋げる考えである。



只見線 小出行 キハ110形

# 只見線、八十里越 その振興策は

**答** 既存施設の整備を早急に進めていく

**問** 只見線は絶景秘境路線として豪雨災害からの復活、全線再開通ということでは全国的にも注目されている。現在の駅舎は大変不便な状況で利用者にやさしい、来訪者に落胆させない施設の整備を強く働きかけていくべきでないか。

**答** 只見駅舎は乗降に大変不便な状況、課題は認識しており、JR更に県へ町民の声として要望していく。

**問** 八十里越の開通により交通量が増加する。町内道路の狭隘区間きょうがいさらに駅前駅前の交差点の交通渋滞を防

ぐために右折専用車線の整備など来訪者や住民の安全な交通のため、早急に整備を国、県に対して強く要望していくべきでないか。

**答** 開通を見据え、町内の狭隘区間や危険個所の解消を行っていく必要があると考えており、県や国に対してしっかり要望していく。

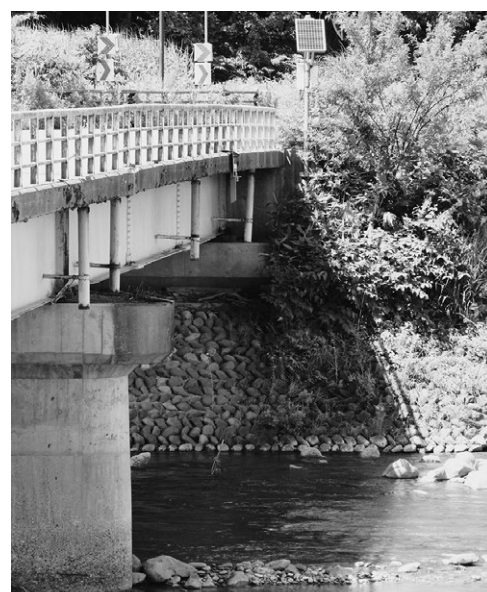
ための具体的な施策が必要でないか。

**答** 只見町の施設や様々なものとして受け止めるものとして受け止

め、管理するだけでなく先人から学び発信していくその体制づくり方向に向けて努力していく。

## 豪雨災害時の 状況把握を安全に

**答** 河川水位計を増設要望している



スマホでも確認できる危機管理水位計

**問**

平成23年新潟福島豪雨災害から10年、国の災害避難情報避難情報の改訂もあり避難情

報の改訂もあり避難情

**答**

今年今年は豪雨災害から10年の節目、避難情報のガイド

報の発令には、適時な状況把握のためライブカメラや国県等の町内河川の危機管理水位計等の整備と、住民へも分かりやすい仕組みが必要でないか。

ラインの改訂に対応した防災訓練の実施や町内に現在8か所設置してある危機管理水位計の増設要望を行っている。

それらの情報を住民も共有できる環境づくりを図り、防災対策に努めていく。



のび あき ざわ や  
**矢沢明伸** 議員

# 新型コロナ終息後の 雇用支援策は

【答】 条例による助成措置を講ずる



さとう たかよし 議員  
佐藤 孝義

**問** 当町ではワクチン接種も進み、見通しがたつてきた。ダメージを受けた町内各産業に終息後の雇用に繋がる支援・再生策を問う。米余りによる米価の下落や、伐期を向えた杉などの政策は。

**答** 米のPR、販売促進事業を継続的に実施、加えて6月補正予算に計上した食味分析計を活用した食味向上に取り組みPRしていく。  
林業については、直近では、コロナ禍による海外の需要バランスの影響等により、国産材の価格が高騰しているといったニュースも流れているが、町内の木材価格まで高騰する状況にない。長年人工林を保育されてきた所有者の心情を察すると安価での売り払いを推進することが出来ない。一方で有害鳥獣の出没、着雪による倒木等が多く見られることから、生活環境保全の面から森林整備について引き続き対応していく。

**問** 新型コロナのために観光客が途絶えている観光業の再生策は。

**答** まだまだ全国的なワクチン接種の進捗によるが、まずはふくしま県民割などの支援策を有効に活用して、町内から県内、近隣県へと町内観光施設の周知と誘客PRを図る。

**問** 高齢化やマンパワー不足が生じている建設業の継続策、誘致企業1社の撤退を受けて他の町内企業への支援策、以上4業種の現時点で出来る具体策は。

**答** 雇用環境の悪化は大きな課題と認識している。町としては、今議会に提案している「只見町雇用促進条例」(\*)による助成措置を講ずることで、雇用機会の拡大と雇用

**問** 環境の充実を図りたい。将来に向け町の経済を動かす基軸産業は。

**答** 様々な業種・業態において経済活動を行なっている事業者がいる。それぞれの産業が町内経済を支える大切な事業であると考えている。全ての産業において、関係団体等と協議調整を行ないながら、振興を図っていく。



※「只見町雇用促進条例」

本町における雇用促進のため、町内事業者に対し雇用促進奨励助成金の交付や雇用の確保協力を行ない、雇用機会の拡大と環境充実を図る目的で制定された。

# 今後の人材確保は大丈夫か

**答** 将来にわたって心配している

**問** 求人情報数が減らない状況が続いているが、対策されているか。

**答** 只見町雇用促進条例による助成措置を講ずることで、雇用機会の拡大と雇用環境の充実を図って行きたい。

**問** 人材確保の具体的な対策の考えは。

**答** 「特定地域づくり事業協同組合」を立ち上げ、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を、地域内外の若者等呼び込み、地域事業者の事業の維持・拡大を推進する事が出来ると考える。

**問** 建設業者から高校生が職場体験には訪れるが、後には訪れない。具体的にどのような所が就労に繋がらないのか、事業者、学校、行政を交えた場を設ける事はできないか。

**答** 学校の就職担当の先生と検討してみたい。

**問** 現在、町・県の除雪に携わっている方が約56名、八十里が開通すると他に32名の除雪オペレーターが必要。町はオペレーター確保をどのように考えているか。

**答** オペレーター育成支援事業補助金を創り支援して、オペレーター確保、養成する助成事業をしている。

**問** いくつもの企業に働く人に入っていたら問題ないのでは。

**答** A社、B社、C社の人が入居、そういった流れであれば特定な事にならないので、そういった環境づくりは様々な振興政策の中で、整えるように努力していきたい。

**問** 安定的な雇用を確保するには継続的な仕事の確保が必要になってくる、町として維持管理工事などを安定的に発注できないか。

**答** そういった仕組みづくりについて検討したい。

**問** 移住・定住、空き家バンクの家を求め就業を希望される方がいらっしゃるとの答弁だが、現在事業者が独自で整備されている集合住宅・寮のような所の施設整備に対する支援とか考える事はできないか。

**答** 特定の事業者だけに支援するのは難しい。



お ぬま のぶ たか  
**小沼信孝** 議員



人材確保、育成が急務！

# JR只見線 全通に向けた取組みは

**答** 駅を中心とした整備を進める



さん べりょう いち  
**三瓶良一** 議員

**問** 町長は駅舎、ホーム、駅前広場の整備方針を示されたが、計画の青写真と進捗状況が見えてこない。いつまでにどのような整備するのか。利活用計画と受入れ対策の方針を問う。

**答** 駅舎は他所の複合駅舎を参考に只見らしい複合駅舎にしたい。ホームと改札口が離れていて改善の必要がある。ただ改修には技術面や費用等の課題があり、現時点では難しい。駅前広場は

用地取得後に舗装改良工事を行なう。駅を中心とした賑わいの創出を考えていく。本年は只見線開通50周年の年で記念行事や「記念硬券」の発売があり、特別列車の運行も要望している。受入れ対策は只見線利活用協議会のアクションプログラムに沿って進めている。



只見大白川間、開通50周年を迎える只見線

**問** 駅舎改修の財源は、当町は電源関連の財源を利用してはどうか。

**答** 財源も大切だが、具体的な課題は何かをお互い認識し、克服していくことが重要だ。JR東日本本社に出向いて協議する準備を進めている。

## 朝日診療所の 県立医療センター化は

**答** 現時点では考えていない

**問** 県立宮下病院は病院から格下げになるが、県立診療所として残される。本来なら最も遠隔地で不便な只見町にこそ県立の医療センターがあるべきだ。医大を有し、医師養成を行なっている県に朝日診療所の県立医療センター化を求めべきと考える。考え方を問う。

**答** 現時点で県立医療センター化は考えていない。他の医療機関との連携で医療を確保する。県や医大に医師派遣を要望している。

**問** 不便な地であるからこそ県立の医療センターがあるべきで、医師、スタッフ等一切県で賄われれば町の負担はなくなり、真の地方分権だ。夜間の救急対応の現況はどうか。

**答** 夜間対応はやっぱりいいないが、電話相談は月数件ある。救急搬送は広域消防で行なっており、件数は把握していない。早期に夜間対応できるように努力している。



# 道の駅基本計画の 変更理由は

**答** 只見く南会津町の間には作りたくない

**問** 5月7日の全員協議会において、道の駅建設の場所は只見く南会津町の間に変更し、只見駅前賑わい創出事業を先行して実施したい、との町長発言があった。変更の理由は何か。

**答** ふくしま道づくりプランに掲げる縦横6本の連携軸を意識して、国道289号を中心に只見く南会津町の途中に建設したい。

**問** 道の駅基本計画書(案)と道の駅検討委員会の答申内容は今後どうするのか。

**答** 道の駅建設に活かすのか。

**答** 道の駅建設に活かし、職員が中心となって、内部作業を進めたい。

**問** 基本構想は概要版で全町民に配布してある。変更には町民理解を得る方法はどう考えるか。

**答** 大切なことと認識している。なるべく早く周知したい。

**問** 只見駅前賑わい創出事業におけるテナントの営業形態はどのように考えているのか。町負担はあるか。

**答** 町の総合案内、物販、飲食の各

機能を担ってみたい事業者を募集し、貸店舗方式で運営を検討している。町補助は考えていない。

**問** 瀧神社、三石神社、只見スキー場、要害山等を整備して観光客増を目指す、只見地区土地利用計画書が平成26年に作られている。実施する考えはあるか。

**答** 三石神社の遊歩道整備は実施する。他にも周辺環境の整備に努めたい。

**問** 各店舗が商売として成り立つためには、只見駅の乗降客や利用者を増やす必要がある。政策はあるか。

**答** SNS等を利用し、環境づくり、イベント等を企画し、関係人口を増やしていきたい。

**問** SNS等を利用し、環境づくり、イベント等を企画し、関係人口を増やしていきたい。



只見駅周辺の環境整備を



すずき よしゆき  
**鈴木好行** 議員

# 人口減少を止める策の 検討経過は



さか い ゆう いち  
**酒 井 右 一 議員**

**答** 魅力的な町づくりが大切

**答** 「只見町人口ビジョン」に記載した通り検討した。今回誘致企業の撤退もあり「雇用促進条例」を新たに作った。さらに、既存の施策政策を活用し努力していく。

**問** 人口減少を止め、町勢振興を図る具体策について、先の3月定例会で質問した。その後について伺う。

**問**

町長は只見駅改修、駅周辺賑わい、J・R用地取得、道の駅など、只見の振興について構想を披歴した。鉄道は開通したが、乗客は只見を通過し会津若松や日光に向かうという事にならないか。道路開通は通過する荷物とごみ、事故や犯罪が滞在する懸念がある。以前の「夢職人」の顛末も気になる。

町長は道の駅計画を、道の駅検討委員会長の大学教授や国交省の検討委員に相談して決めたとした。

政策決定の仕組みは、「町長が議会に政策提案し議会が決める」と定められている。大学教授や国交省委員は、あくまでも町長の諮問機関である。町の意思決定に際し答申ができない。町は「自治体

の二元代表制（地方自治法）」により成り立っている。町の再生と賑わいを取り戻すことを良く考えれば、地道に出生率を高めることである。家庭を築き、子どもを産み、育てるサイクルが重要であり、これが基本である。

**答**

町が魅力的な町になることである。生活環境を整え豪雪や不便を解決し、産業振興、医療福祉の充実を図る事が大事だ。

**問**

組織が縦割りで連携が取れていない。行・財政改革を行ない、組織機構を見直して少子化対策室を作り、この難題に対応する気はないか。近い将来の人口1500人台も視野に入っている。

**答**

基本はそう思っているが、現状の課題や人員の中でその余力がない。

※他に振興センターに関する質問がありました。

## = 組織機構とは =

町長の目指す町づくりを実現するために、仕事の量や課題に合わせ、職員を適正に配置し担当させる。  
他に行政改革、財政改革などがある。



# 難聴者への 補聴器助成制度創設を

**答** 制度設計難しさある

**問** 難聴者への補聴器購入時の補助を平成31年と令和2年に提案してきた。加齢性難聴の対策で補聴器活用により認知症予防につながる研究結果も踏まえ、福祉政策として提案してきた。前回の答弁では、「医師の診断の数値的な基準」

「現場で補聴器の有効性や医師の判断の数値化、補助のあり方など課題について検討している」という答弁であった。その後の検討結果を問う。

**答** 聴力レベル30デシベル以上の軽度難聴、50デシベル以上の中度難聴の方への

補聴器購入補助制度創設と受け止めている。

国において認知症と難聴の関連性について研究しているので、結果等を注視していく。一部の自治体では補聴器が認知症予防効果として認められる場合には、補聴器購入に係る全国一律の公的補助制度を創設するよう国に提案している例もあり、今後の国県等の動向を踏まえ、さらに研究していく。

**問** 町の役割は町民の健康・福祉を守ることにある。現在の国の制度や全国の取り組みになっていく子どもの医療費無料化、保育園児への助成制度、健康診断の取り組みな

**答** どは国民の世論と一部の自治体から開始されたものが国の制度になっている。町独自で実施する考えは。公的な助成となると制度設計の難しさがある。



いつまでも元気に

**問** 補聴器助成制度を実施している自治体の中には、健康診断で聴力検査し科学的に分析し活用している。社会参加するために早い時期からの対応を求める。

**答** 財源の配分の優先度など引き続き検討が必要。

**問** 18歳以下の聴力検査は行なっているか。

**答** 出生後の検査と学校健診で行なっている。学校でも障害があった場合、見逃さずに教育振興に努める。



やま ぎし くに お  
**山岸 国夫** 議員

# 多様な選択ができる 住宅整備を

答 需給バランスを十分把握しながら検討する



かん け 家 忠 議員

## 答

住宅困窮解消による町民生活の安定と社会福祉の増進、定住を促進する目的で、様々な形態の町営住宅の整備を進めてきた。移住希望者については、地域創生課が

## 問

関係人口増加を掲げる只見町に今、必要な政策は「移住者・子育て世代に優しい、多様な選択ができる住宅の整備をすること」だと考える。顧客目線の情報戦略ができていくのか現状の分析と評価を求める。

## 問

窓口になり空き家を含めた移住相談をしている。町営住宅についても、みなし特定公共賃貸住宅としての活用を始めたことは子育て世代への対応にも関連するものであると考える。

## 答

仮に「新築奨学金」のような町独自の金利優遇制度があれば、町営住宅の収入超過者の方々への新築の家作りの後押しになるのではないかと。

## 問

その制度は、HPに記載はされているか。確認したと

本年4月から定住促進、空き家の有効活用を図るため町内に住宅を取得し居住する世帯主を対象に取得費の一部を補助する制度を創設した。これが定住や新たな住環境への切り替えの後押しになるものと考えている。

## 問

今回、町民向けではない移住者向けの「只見町移住者ガイドブック2021」への記載し確認できなかった。

## 答

そのとおりである。

## 答

今回の質問の趣旨はここである。どれだけ水を注いでも、穴が空いたバケツには水が溜まらない。移住者向けの政策に力を入れる（新たに水を注ぐ）のは大切なことだが、今、只見町に住んでいる町民が転出（穴から水が漏れる）しては人口減少が加速する。今住んでいる町民の顔が見える、町民に優しい政策・情報発信を求める。

## 問

課題、目標に着目した組織にしていかなければならないと考えている。顧客側から見た情報の発信、行政展開が今求め

られているのだと感じている。

只見町 町営住宅資料		只見町 町営住宅一覧 (条例)					令和3年6月作成 4番議員菅家忠
住宅名	施行日	合計戸数	建物の特徴	所得制限	入居条件	月額家賃	
1 町営住宅 (町営住宅条例)	平成10年	71戸	基本3階建ての鉄筋住宅 ※戸建てもあり	世帯収入 ~158,000円 もしくは ~214,000円	事項に別途まとめる	複雑 (家賃算定基礎額に次に掲げる数値を乗じた額) (政令第2条)	
2 若者定住促進住宅 (若者定住促進住宅設置及び管理に関する条例)	平成5年	3戸	三石神社近く戸建て3棟 満50歳までしか入居できない	世帯収入 ~214,000円 →収入超過者の認定はある	現に同居し、又は同居しようとする親族があるもの及び、入居時の年齢が満45歳未満	30,000円	
3 特定公共賃貸住宅 (特定公共賃貸住宅条例)	平成17年	6戸	朝日駐在の隣、只見中の近く 中堅所得者層の主にファミリー世帯向け	世帯所得 158,000円~487,000円	現に同居し、又は同居しようとする親族があるもの	41,000円、45,000円 別途車庫4,000円	
4 みなし特定公共賃貸住宅 (町営住宅条例 第4章)	令和3年	2戸	福井の住宅の一部 町営住宅を公営住宅法の規定に基づいて変更	世帯収入 158,000円~487,000円	現に同居し、又は同居しようとする親族があるもの	町営住宅の規定にかかわらず町長が定める (条例 第56条)	
5 定住等促進住宅 (定住等促進住宅条例)	平成24年	10戸	新規就業者等、町の制度を利用して町内への定住を希望し、一時的に住宅を必要とする者は公募によらず入居可能 (最長5年間)	なし	町内に定住等を希望し半身又は同居しようとする親族が3人以上	35,000円、43,000円	
6 借上型賃貸住宅 (借上型賃貸住宅条例)	平成30年	17戸	坂の丘、広域消防署の向い、ドライブインしゃくなげの向い 修繕費は民間の物件所有者負担	なし	ほぼなし	申告された収入に基づき、別に定める家賃とする。	
7 賃貸住宅 (賃貸住宅条例)	平成29年	10戸	沖下住宅の一部 国道側の5戸連続2棟のみ 町営住宅を用途廃止し、所得制限を撤廃	なし →収入超過者の認定はあるのはなぜか?	ほぼなし	町営住宅と同様の算定 →町独自で家賃設定できるのでは?	



町営住宅制度は複雑なため、条例をもとに資料を作成しました。こちらから御覧ください。

# 八十里開通に向けた道の駅建設は

**答** 駅前賑わいづくりを優先

**問** 道の駅については、検討委員会の答申を踏まえて順調に進んでいると考えているが、現在までの進捗状況と完成までのスケジュールは。道の駅建設までに課題はあるか。

**答** 進捗状況については只見町道の

駅基本計画(案)のご提言や内容を基礎にしなから具体的なスケジュールも含めて引き続き検討する。

**問** 只見町道の駅基本計画(案)の中に位置的なものを含まれているか。

**答** 旧只見中学校跡地で検討してきた。

**問** 位置が変われば、コンセプトであった「JR只見駅に隣接する道の駅」ではない。

**答** 結果的にそうなるが一番先に

るものではない。国土交通省の「道の駅」にはならないが駅前の賑わいづくりを最優先に考えていく。

**問** 町は289号全線開通を見据えて危険箇所を早急に調査、把握し県に要望すべきである。

**答** 高齢歩行者や自転車などの様々な目線で危険箇所を把握し県に要望していく。



なかのたかのり  
**中野大徳** 議員



賑わいの創出が急がれるJR只見駅周辺

## 温室効果ガス削減に向けた考えは

**答** 国県の動向を注視しながら検討

**問** 2050年までにCO<sub>2</sub>ゼロを目指す福島県知事は「カーボンニュートラル」を宣言されたが、これを受けて町の考えは。

**答** 只見町はユネスコエコパークに登録されている。持続可能な社会の構築という点において地球温暖化対策、気候変動問題は喫緊の課題だと認識している。2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指すには実効性のある計画が必要と考える。そのためには現状の把握等の整理をする必要があると考えている。国県の動向を注視しながら検討していく。

**問** 只見中生徒によるエコバッグ等の取り組みは只見町にとってSDGsの良い宣伝だと思う。

**答** 子どもたちが、自分で発想し活動している。SDGsの取り組みとして教育委員会としても非常に評価している。

# 行政課題に取り組む 組織力の強化を

**答** 職員の能力開発で意欲の喚起を図る



さいとうくに お 齋藤邦夫 議員

**問**

只見線の再開通及び国道289号・八十里越開通に伴い交通量が増加し、町民生活や経済活動に及ぼす影響は甚大であるが、当面の対応策を問う。

**答**

只見駅前整備は賑わいづくりを喫緊の課題として取り組み、只見線沿線町村や県只見線再開通準備室との連携を図り進めていく。湯ら里の整備は議会特別委員会の提言を踏まえ課題等を整理し、町交流促進セン

**問**

速やかな対応は評価するが、手落ちなく計画的に進めていただきたい。

**答**

また、町政の重要課題に取り組むため、行政改革の必要性と組織力の強化策を問う。  
来年度は令和5年度以降の行政改革大綱を策定し、アフターコロナを踏まえて行政改革が必要と考える。組織力の強化については、人事の刷新と職員の能力開発より住民サービスの向上を図り、職員が意欲的に取り組める環境づくりを進めたい。

**問**

コロナワクチン接種は町民に好評であった。接種の目的・手順方法が徹底され手際よく行なわれていた。行政改革は若い人材の確保やスキルアップに繋がる。職員の意識改革と活気ある職場環境づくりを問う。

**答**

行政改革はその時代に柔軟に対応をするため必要、最小の経費で最大の効果を生み出すことが自治体の責務であるが、その中で一番まちづくりの根幹となる「どんな只見町にするか」まちづくりの考え方や目標を共有して職員の意欲の喚起を図り、具体的に努力することが大事と受け止めている。事務改善委員会を活用し、日々の業務の中から改善点を見つけ、広く皆さんの意見を取り入れ組織力強化を図りたい。



八十里越開通までに改良が必要な明和橋



ブナりん

# 教えて! 議会のこと

Vol.28



アカシウちゃん

## 『契約議決』ってなあに?

(※3ページに関連記事)



イワっぺ

只見町キャラクター ©Tadami



**ブナりん** 「契約議決」ってどういう意味なの。

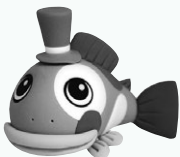
**議長** 町の1年間の収入と支出の見積もりを3月会議で決めるのは知っているね。

しかし、重要な契約を結ぶ場合、適正かどうか議会の意向を反映させるために議決を要することになっているんだよ。

**アカシウちゃん** どんな決まりがあるの。

**議長** 政令で定める基準に基づいて、町には「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」というのがあるんだ。

工事又は製造の請負の場合は予定価格が5000万円以上、財産の取得又は処分は予定価格が700万円以上と決められているんだ。



**イワっぺ** どんな手続きになるの。

**議長** 請負人と仮契約を結び、契約の目的・相手方・契約の方法・金額等を記載した契約議案を議会に提出して議決を求めることになるんだよ。

**アカシウちゃん** 議会はどうするの。

**議長** 慎重に審議して可決か否決かを議決するんだ。

この6月会議でもデイサービス送迎用バス、除雪ドーザ2台、油圧ショベルの財産取得の議案を可決したんだよ。

**ブナりん** 町民の大切な税金を使うんだから、慎重な対応が必要なんだね。

**議長** その通りなんだけど、町の大事なお金を使うので、議会はしっかりと審議をしていかなければならないんだよ。



只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。



只見町って  
なじよだや？

## 私が思う只見町の良さ



只見高校  
2年 三瓶 楓  
(只見中出身)

私が只見町で好きな  
ところは誰にでもしっ

が意識することによっ  
てより過ごしやすい町  
になると思っています。こ  
れから、さらに明るく  
元気な町になるように  
自分から積極的に挨拶  
をしていこうと思いま  
す。



## 私にとっての只見町



只見高校  
2年 岩佐 優生  
(山村教育留学生  
埼玉県出身)

私は只見町の緑と水  
が大好きです。

この大自然を都会の  
人や只見を知らない人  
に知ってもらうために  
旅行プランや、施設を  
作ったら良いと思いま  
す。  
春や夏は森の中に大  
人から子供まで遊ぶこ  
とのできるアスレチック  
やツリーハウスなど  
の施設で楽しみ、夜は  
テントを広げ。焚火を

しながら星を眺めたり、  
秋は紅葉を、冬は  
雪と満天の星空を体験  
したりしてほしいと思  
います。  
只見線が復興したら  
只見線を絡めたツアー  
も企画することで、よ  
り多くの人に只見町の  
良さが伝わるのではな  
いでしょうか。

## 編集後記

町内ではコロナウイルスのワクチン  
接種も進み、65歳以上の接種率は約92  
%だそうです。64歳以下の接種も7月  
末までにはほぼ完了予定です。少しず  
つ通常の日常生活に近づいているよう  
な気がします。一刻も早いコロナの終  
息を願っています。

一方でJR只見線の再開通や八十里  
越道路の開通が目前に迫り、町も議会  
も新たな政策が必要となっています。  
町民の皆様の幅広いご意見を伺い、町  
政に反映させることが我々議会の役目  
です。みなさまの忌憚のないご意見を  
お待ちしております。

(鈴木好行委員)

### 発行責任者

議長 大塚純一郎

### 広報広聴常任委員会

委員長 小沼 信孝

副委員長 菅家 忠

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行

委員 酒井正吉郎

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp